



No. 18 / 52

有脇小学校校長だより

2021・1・29

今年は冬の野外活動

の時期に変更されました。また、宿泊地も岡崎ではなく、「美浜少年自然の家」での実施



真っ青な空と海 海岸線を歩きます

1月21日・22日に5年生が野外活動に出かけました。今年はコロナ禍で7月の実施ではなくこの時期に変更されました。また、宿泊地も岡崎ではなく、「美浜少年自然の家」での実施となりました。有脇小学校5年生は“見よう 気付こう 信頼しよう ～友だちと過ごす最高の2日間～”というスローガンを掲げ活動しました。プログラムは“冬・海”ならではの内容を実施しました。1日目は、“ハイキング”“塩づくり”“海苔すき”“キャンドルのつどい”“学年レク”，2日目は“海苔はがし”“野外炊飯（おにぎりづくり）”です。有脇小学校の5年生は「みんなのたんぼ」で稲作

体験をし新米「ありわきっこ」を収穫しています。さらに“野間の灯台”近くの“食と健康の館”で“塩づくり”を行い、施設に帰って“海苔すき”を行うことで、「完全オリジナルおにぎり」づくりを目指しました。塩作りは海水（かん水）を煮詰めてつくりました。海苔すきは、種海苔を地元の海苔漁師さんから分けてもらい、包丁でたたいて細かくするところから取り組みました。その海苔を水に混ぜ、“杵”“升”を使って“す”にすいていきました。大きな木杵に海苔の付いた“す”を貼り付け、それを施設にある大型乾燥室に入れ、一晩たてば海苔になり



塩ができました



海苔をすいてます

ります。二日目は“す”から海苔をはがし、完成です。ただここからが一番つらい作業になります。海苔が表面に付いた“す”をきれいに水洗いするのです。それでも子どもたちは文句一つ言わず、黙々と水洗いをしていました。かまどでご飯を炊いておにぎりをつくりました。前日つくった塩は、乾燥が完全ではないために、使うことができませんでした。海苔はかまどの残った炭であぶっておにぎりに巻いて食べまし



海苔っほくなってきました

1日目の夜にはキャンプファイヤーの代わりに「キャンドルのつどい」を行いました。スタンプもトワリングも子どもたちがしっかり準備した成果を出すことができました。最後に「信頼」の「信」の火文字のプレゼントがありました。信じる

た。海苔をあぶると、パリパリとした食感と海の香りがしてきました。中には1枚まるごとおにぎりに巻いて食べている子もいました。海苔たっぷりのぜいたくなおにぎりでした。



自分でつくった海苔をまいて



炎の中に何が見えますか

とか「信じたから失敗は許されない」ではなく、「結果がどうなってもあなたの味方だよ」という気持ちなんですね。だから難しいけど「信じてもらえる人になってほしい」という話をしました。

最後に一人一人がろうそくに火をともし、終わりました。

たった2日間でしたが子どもたちは成長することができたと思います。

この活動を実施するに当たって、たくさんの方に力を貸していただきました。コロナに関する配慮もたくさんしていただきました。本当にありがとうございました。

不審者がいる

3学期に入って南門西側の駐車場でいやな出来事がたて続けにお起こっています。まず、職員の車に赤の絵の具が大量に出されていました。次は“剣山”が2個置かれていました。次にゆで卵の殻が捨てられていました。もちろん警察には届け出て相談しています。ここの駐車場は出入りが自由ですので、トラロープで囲いました。ただ、不審者がいることには違いありません。何かお気づきのことがありましたら学校または警察にご一報ください。

